

授業基本情報

科目名	火山災害特論
実施形態	対面
担当教員	片岡香子
科目区分	自然災害科目群
科目番号	C02
総時間数	1.5時間
コンテンツ数	2
履修条件	対面講義 1 コマを 2 コンテンツとみなす R6年度第 1 学期集中講義

授業概要情報

更新日	2023/7/21
概要	火山の噴火現象、噴火後現象を論じ、それぞれの火山災害について解説する。日本列島は島弧のセッティングにあるため火山活動が非常に活発である、火山の影響は、火山周辺だけでなく、広域に及ぶもので、我々の生活にしばしば重大な困難をもたらす。火山がもたらす現象や火山災害の事例を知り、その危険性を理解することは、今後の災害の予測や軽減には重要である。
科目のねらい	日本には111の活火山があり、近年も国内各地で火山活動が活発化していることはあきらかである。この火山や噴火を身近なものとして感じ、火山活動とその災害について幅広く理解することと、その特徴を知ることによってソフト・ハード的な防災・減災対策を考える力を養う。
学習の到達目標	1. 火山活動が多様であり、それがもたらす災害の質が異なることが理解できる。 2. 火山災害の防止・軽減に対する自らのアイデアを提案できる。 3. 火山災害予測図が理解できる。
参考文献	
評価の方法	レポートによって成績を評価する。

授業計画詳細情報

内容	授業時間外の学修	備考
さまざまな火山現象と災害	国内・国外で発生する火山噴火や災害についてのニュース・新聞記事等を見聞きしておくこと。	